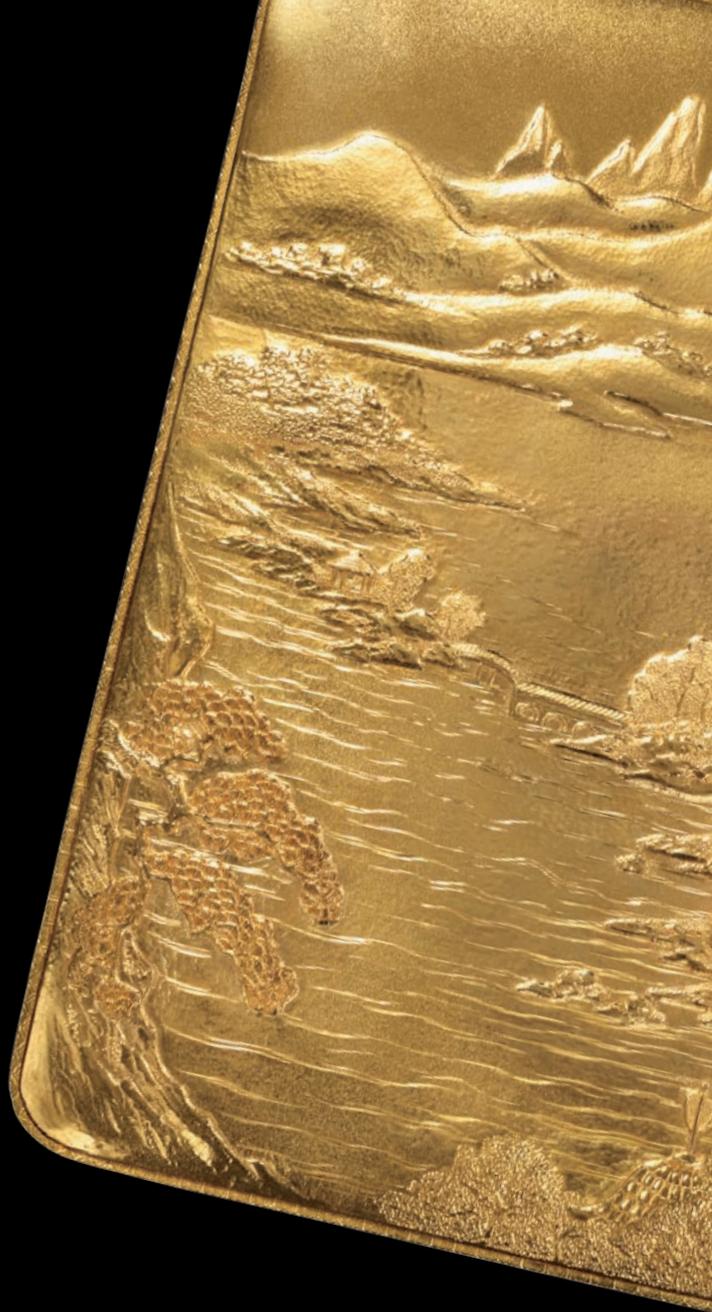


徳力本店の金工芸品集

金世界







何千、何万回と、金を打ち込み、金と語らいながら、
唯一無二の至宝を創りあげていく――。

江戸時代から金と歩みを進め、

その伝統を連綿と受け継ぐ徳力本店は、

職人技を継承する名工金工作家とともに

数々の金工芸品を創りだしてきました。

それは、普遍の価値を持つ純金の「至高の輝き」と、

匠が磨き抜いた「至高の技」との結晶に他なりません。

見るほどに、ふれるほどに、私たちの心の奥底に響き、

満ち足りた気持ちで包んでくれる不思議な力を秘めています。

・目次

表紙 硯箱

02 茶器

07 酒器

11 置物

23 小物

25 刀

29 仏像

39 おりん

41 仏具

001 鳳凰風炉富士釜揃

肉出し彫刻で精妙に描かれた雅やかな鳳凰の姿と、秀麗なる富士釜の凛々しさ。四代目江峯好みの鳳凰風炉富士釜揃は、純金の板一枚から成る匠技の結晶です。





■ 002 | あられ打茶釜

■ 003 | 岩石打風炉



■ 004 | 棗（蒔絵）

■ 005 | 棗（亀甲打）

■ 006 | 茶杓



■ 007 | 抹茶々碗（楽風）

■ 008 | 抹茶々碗（筒型）



■ 009 | 抹茶々碗（井戸風）

■ 010 | 抹茶々碗（萩風）



■ 011 | あられ打湯呑 (蓋付)

■ 012 | あられ打急須

■ 013 | あられ打湯沸



■ 014 | 亀甲打夫婦湯呑 (波)

■ 015 | 亀甲打急須



■ 016 | 打出し湯呑 (二重)

■ 017 | 打出し湯呑 (一重)



■ 018 | 高砂夫婦湯呑

■ 019 | 玉露茶碗 (呂)

■ 019 | 玉露茶碗 (朱)

■ 020 ぐい呑

純金がもつ至高の輝きと、
手に伝わる確かな重み。
黄金の盃が生み出す美酒に
酔いしれる、極上の悦び。





■ 021 | 亀甲打銚子

■ 022 | 鏈目打銚子



■ 023 | 盃



■ 024 | 亀甲打猪口（波）

■ 025 | 亀甲打徳久利（波）



■ 026 | あられ打酒器揃



■ 027 | 籐巻酒器揃



■ 028 | ブランデーカップ

■ 029 | ワインカップ

030 六角高足香炉

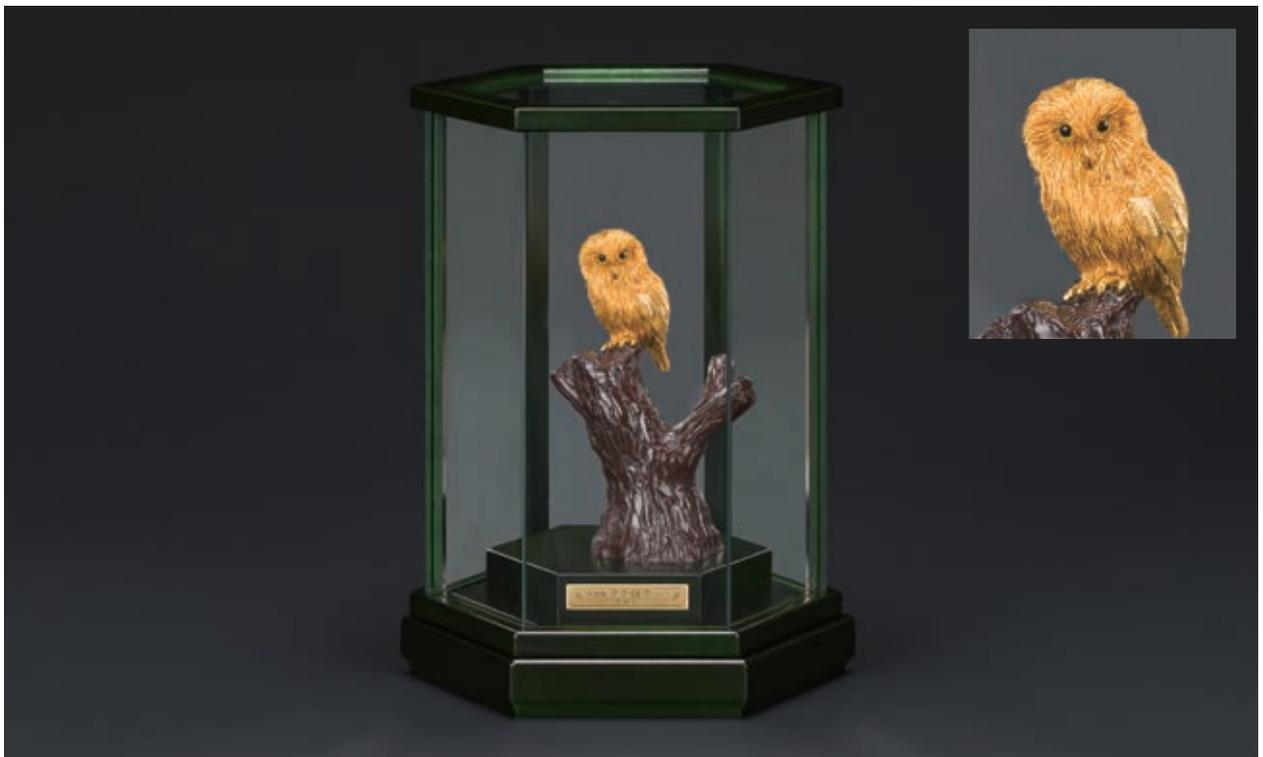
細部まで宿る、匠の心、
最高峰の技。

美しき威厳を放つ黄金の
香炉は、そこにあるだけで
空気を気高く焚き染めます。





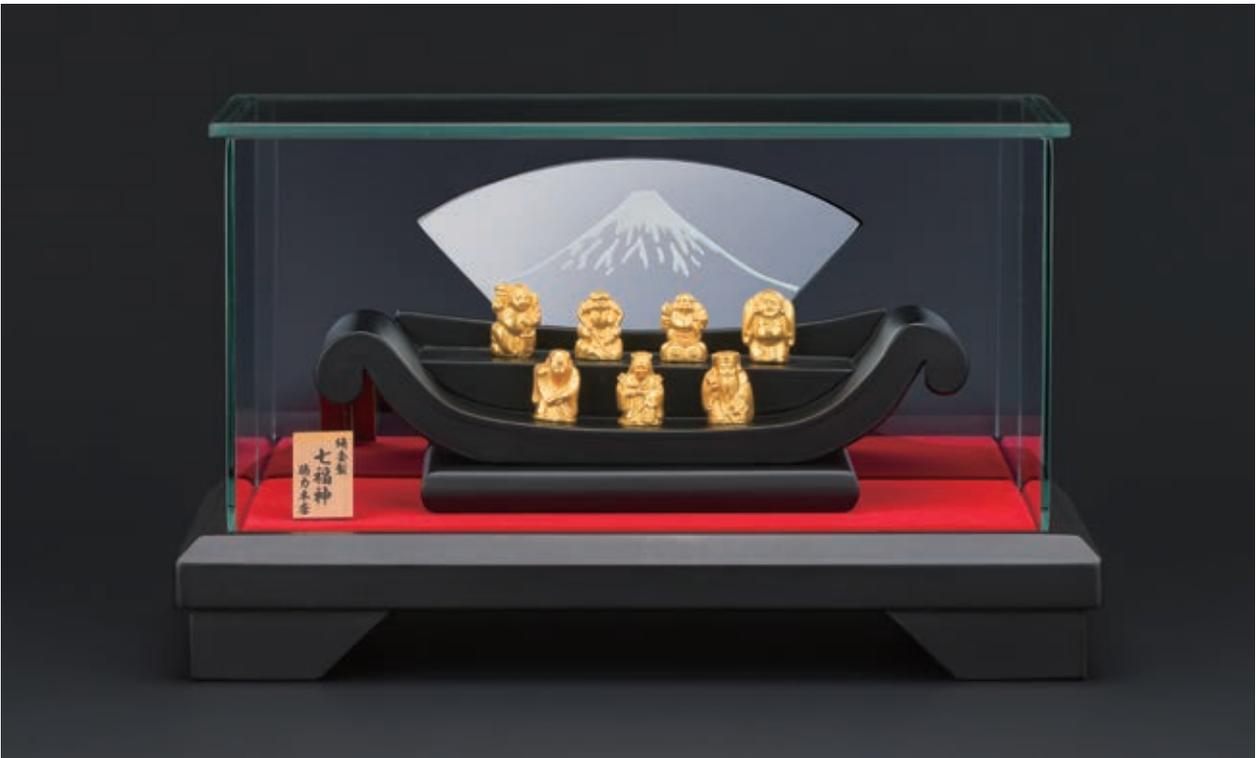
■ 031 | 金鷲



■ 032 | フクロウ (S)



■ 033 | 鯨



■ 034 | 七福神



■ 035 | 福籠



■ 036 | お地藏様



■ 037 | 蛙



■ 038 | 左馬



■ 039 | たま雛 (赤)



■ 039 | たま雛 (黒)



■ 040 | 出世兜（富士山）



■ 040 | 出世兜（波）



■ 041 | 兜 (秀吉)

■ 042 | 兜 (信長)



■ 043 | 家紋額



■ 044 | 福德招き猫 (小判)



■ 044 | 福德招き猫 (大入)



■ 045 | ひだまり (猫)



■ 046 | おめで鯛



■ 047 | 福徳たぬき



■ 048 | 仙臺四郎



■ 049 | 鴛鴦



■ 050 | 亀甲打香炉（肉彫）

■ 051 | 亀甲打香炉

■ 052 | 亀甲打香合



■ 053 | 七福神小判

■ 054 | 富士山小判

■ 055 | 鳳凰小判



■ 056 | 大判・小判



■ 057 | 招福お守り



■ 058 | 耳かき



■ 059 | 根付

060 飾太刀

圧出菊亀甲地紋鞘糸巻太刀拵、
鐔は葵鐔。

刀身は凛々しい備前刀を映し、
刀装全てに伝統工芸の
美と技の結集。

日本刀の極みがここに。





■ 061 | 亀甲打大刀拵

■ 062 | 亀甲打小刀拵



■ 061 | 亀甲打大刀拵 (刀身白金)



■ 063 | 亀甲打短刀（刀身白金）



■ 064 | 亀甲打短刀



■ 065 | 亀甲打短刀 (梨地仕上)



■ 066 | 蒔絵短刀 (呂)

■ 067 | 蒔絵短刀 (金)

■ 068 | 螺鈿短刀



■ 069 阿弥陀如来立像

その表情とお姿は、
どこまでも慈悲深く、
どこまでも厳か。
妥協を許さない伝統工法で
精魂込めて作られた黄金の
仏像は、魂に響く美しさ
があります。



■ 069 | 阿弥陀如来立像



■ 069 | 阿弥陀如来立像（西型）

■ 069 | 阿弥陀如来立像（舟型）

■ 069 | 阿弥陀如来立像（東型）



■ 070 | 阿弥陀如来坐像



■ 071 | 釈迦如来坐像



■ 071 | 釈迦如来坐像



■ 072 | 釈迦如来立像



■ 073 | 大日如来坐像



■ 073 | 大日如来坐像



■ 074 | 弘法大師坐像

■ 075 | 日蓮上人坐像



■ 078 | 文殊菩薩（卯年生）

「文殊の知恵」といわれるように、真理を見極める智慧を司る仏様で、人々に普遍の智慧をさずけ、悟りへみちびきます。

■ 079 | 普賢菩薩（辰・巳年生）

“智慧の文殊”に対し“慈悲の普賢”といわれ、文殊菩薩とともに釈迦如来の脇に並び、あまねく人々に慈悲をほどこします。



■ 082 | 不動明王（酉年生）

仏教の守護神として怒りの形相で火焰の中に立ち、その燃えさかる炎で人々の煩惱を除き一切の災いを打ち砕きます。

■ 083 | 阿弥陀如来（戌・亥年生）

限りない命と智慧をもって、悩めるすべての衆生を救いつづける、極楽浄土の主といわれる仏様です。



■ 076 | 千手観音（子年生）

千本の手と千の目を持つ観世音菩薩で、さしのばされた手は、あらゆる方法で人々を救う慈悲の心を表しています。

■ 077 | 虚空蔵菩薩（丑・寅年生）

虚空蔵とは無限に広がる知恵と福德を取めた蔵を意味し、人々にこの二つの徳を与えることで願いを叶える仏様です。



■ 080 | 勢至菩薩（午年生）

阿弥陀如来の脇侍仏として、智慧の光であらゆるものを照らし、迷いや苦しきから人々を救い極楽へみちびきます。

■ 081 | 大日如来（未・申年生）

「宇宙のすべて」「命あるものすべてを生み出した存在」とされる最高位の仏様で、全世界の平安と繁栄を司ります。



■ 084 | 聖観音立像



■ 084 | 聖観音立像

ご先祖様へ思いを馳せるひとときに
心を照らす黄金のおりんを。

その魅力は、永遠に色褪せることのない
まばゆい輝きだけではありません。

柔らかく深みのある音色と天高く響く余韻は
心に染み入る美しさがあり

静かな対話の時間にそっと寄り添います。

金工芸の匠が一点一点拵えた黄金の仏具。

それは世代を超えて受け継がれる、
一家の至宝です。



■ 085 おりん



家紋彫一例



■ 085 | おりん



■ 085 | おりん



仏具一式



仏具(小)一式



■ 086 | 仏飯器

■ 086 | 仏飯器 (小)



■ 087 | 茶湯器

■ 087 | 茶湯器 (小)



■ 088 | 燭台 (大)

■ 088 | 燭台 (中)

■ 088 | 燭台 (小)



■ 089 | 香炉

■ 089 | 香炉 (小)



■ 090 | 線香入

■ 090 | 線香入 (小)



■ 091 | 線香立 (四寸)

■ 091 | 線香立 (三寸五分)

■ 091 | 線香立 (小)



■ 092 | マッチ消し

■ 093 | ローソク消し



■ 094 | 花立

■ 094 | 花立 (小)



■ 095 | 常花一对 (黒檀花瓶)



■ 096 | 高环一对



■ 097 | 念珠



■ 098 | りん棒



■ 099 | 位牌



■ 100 | 御神鏡

